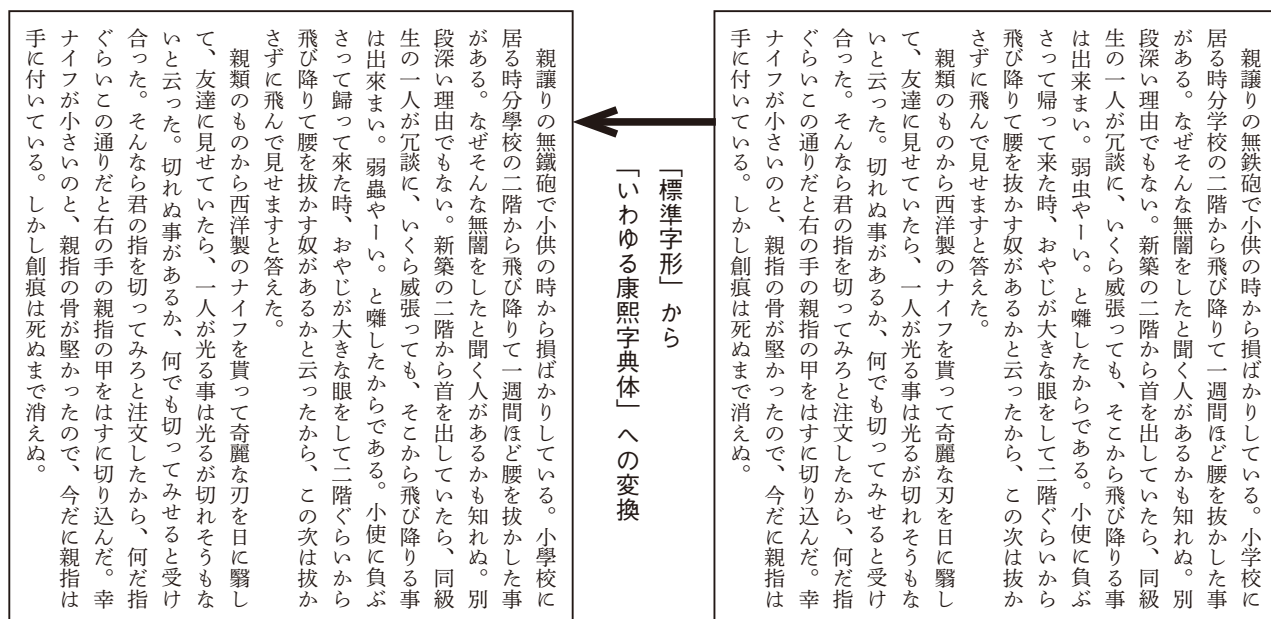
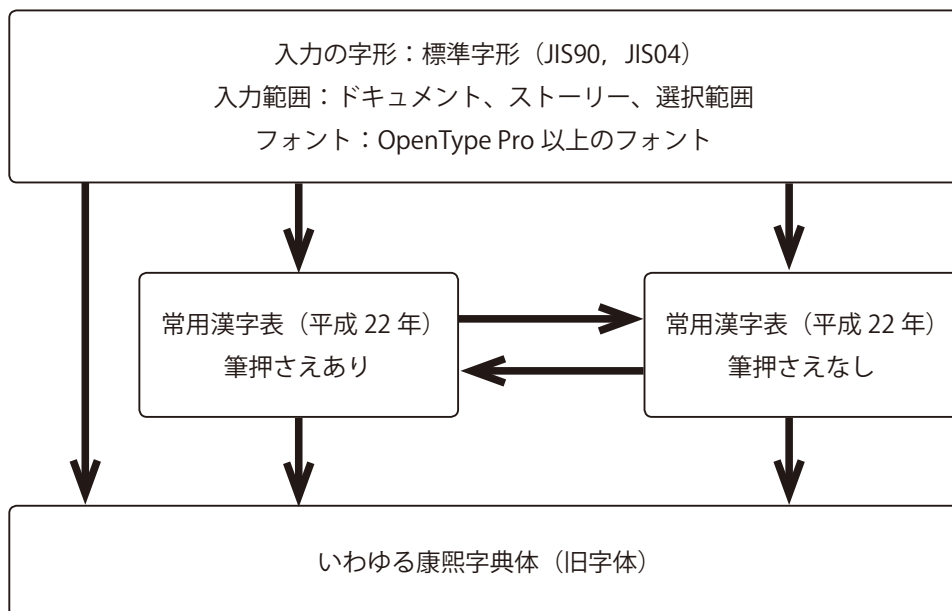


# 本スクリプトの目的と特徴

**出** 版・印刷分野における標準的な字体整理の方針は「**常用漢字表、表外漢字はいわゆる康熙字典体**」とされています。これを実現するために DTP においては拡張新字体を排除することが重要です。しかしながら、これを手作業で行った日には、見落としによる作業漏れがどうしても生じますし、組版から校正までの作業時間も膨大なものになります。

InDesign 用字形変換スクリプト Glyphconv はその問題の解決を目的としたものであり、**スクリプトを用いて「常用漢字表、表外漢字はいわゆる康熙字典体」に基づいた字形変換**をします。これにより組版時間の大幅な削減と**字体整理の安定した品質**とを実現させます。

本スクリプトは先述した字形変換機能を提供する他、「**全字種をいわゆる康熙字典体へ変換する機能**」をも提供し、いわゆる旧字体での字体整理を支援します（仮名遣いは変換しません）。また、表内漢字において筆押さえの有無を選択でき、利用者の好みに合わせた字形変換も実施できます。



## ファイル構成

ファイル構成は以下の通りです。

ファイル名	説明
glyphconv2.jsx	スクリプト本体
glyphtable.json	字形変換表
manual.pdf	本マニュアル
readme.txt	簡易説明書

## 動作環境

**想** 定する動作環境は以下のようになります。各バージョンの InDesign 本体の動作要件については、アドビシステムズ社の公式見解に準拠します。**Mac OS X 版の InDesign でも動作可能と思われませんが、制作者は未所有であるため動作の保障はできません。**

OS のバージョン	InDesign のバージョン
Windows 7 以上	InDesign CS6 ～ InDesign CC 2015

また、以下の環境において、動作を確認しています。

OS のバージョン	InDesign のバージョン
Windows 7	InDesign CS6
	InDesign CC 2015
Windows 10	InDesign CS6
	InDesign CC 2015

## 使用上の注意

**本** スクリプトの使用によって生じた如何なる結果について、製作者は一切の責任を負いかねます。商用および個人の区別に関らず本プラグインを利用することについて、本プラグインの製作者は一切の妨げをいたしません。同様に変換テキストをもとにした文章を公開（商用・非商用に関らず）することについても、一切の妨げをいたしません。

## インストールとアンインストール

**ス** クリプト本体（glyphconv2.jsx）と字形変換表のファイル（glyphtable.json）を InDesign のスクリプトディレクトリに配置してください。アンインストールは、これらのファイルを削除するだけで完了です。

## 使用方法

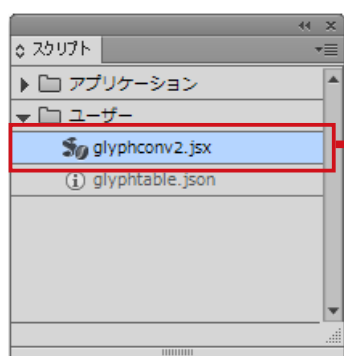
使用方法の説明のスクリーンショットは「Windows 10」の「InDesign CC 2015」で採取したものですので、使用する InDesign のバージョンと OS とによっては、表示に差がある可能性があります。

### スクリプトの起動

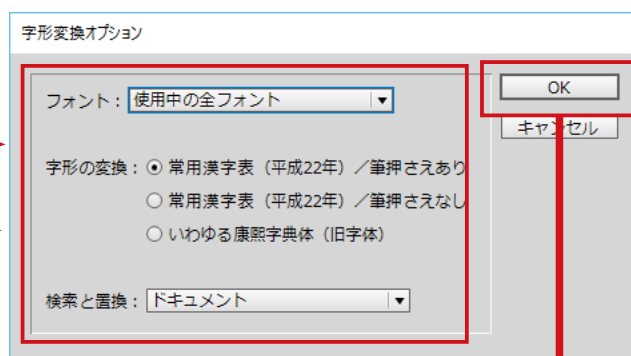
ツールバーの「ウィンドウ (W)」>「ユーティリティ (U)」>「スクリプト (S)」から、スクリプトパネルを立ち上げます。スクリプトパネルの「ユーザー」の「glyphconv2.jsx」をダブルクリックすると、スクリプトが起動します。

### 字形の変換設定

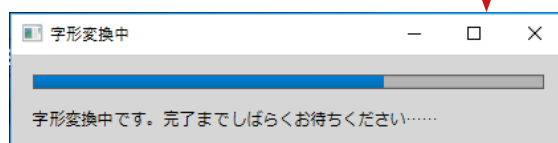
スクリプトが起動したら字形変換のための設定をします。設定の詳細は次ページを参照してください。設定完了後「OK」ボタンを押すと字形変換が開始されます。**変換を開始したら途中の処理は中止できません。また、変換が終了するまで InDesign の操作はできません。**



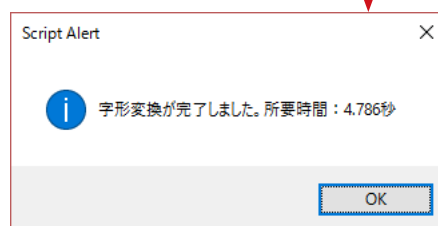
① スクリプトパネルから起動



① 設定の詳細は次ページ。設定後「OK」ボタンを押す

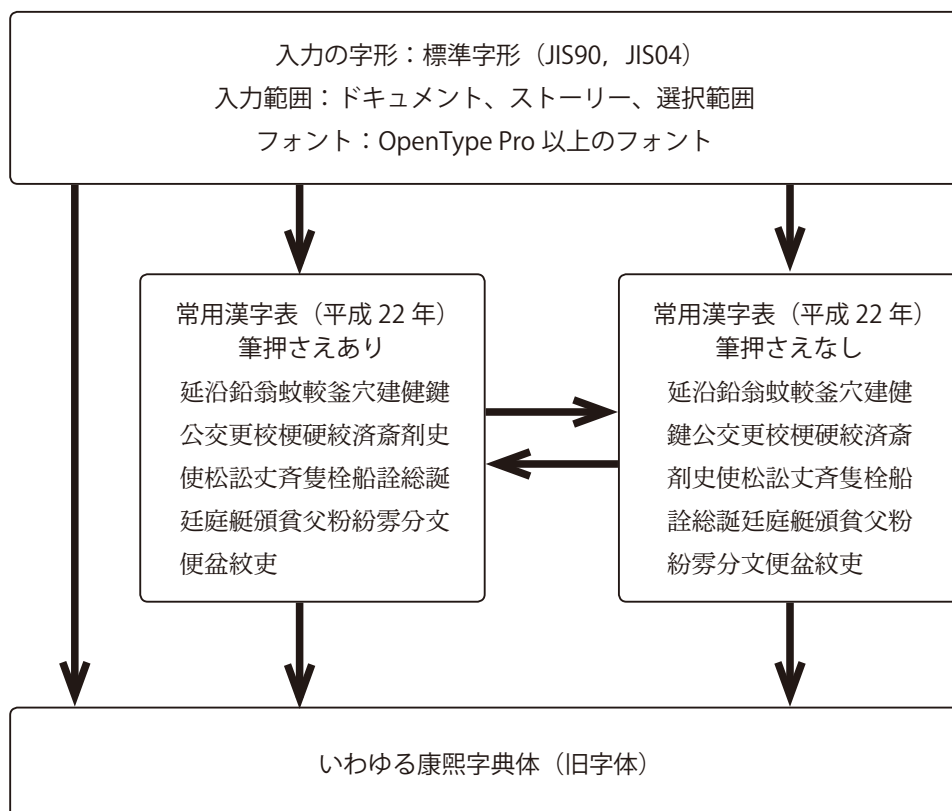


② 字形変換が開始。字形変換中は進捗ダイアログが表示される



③ 字形変換が完了すると終了アラートダイアログが表示される

設定項目名	設定値	詳細
フォント	全ての OpenType Pro 以上のフォント	使用中の OpenType Pro 以上のフォントに対して字形変換を行います。
	各フォント	特定のフォントに対して字形変換を行います。
字形の変換	常用漢字表（平成 22 年） 筆押さえあり	常用漢字表に準拠し、表外漢字はいわゆる康熙字典体に変換します。表内漢字における特定の字種（下記参照）を筆押さえ付きの字形に変換します。
	常用漢字表（平成 22 年） 筆押さえなし	上記と同様ですが、表内漢字において筆押さえをつけません。
	いわゆる康熙字典体（旧字体）	表内漢字もいわゆる康熙字典体に変換する設定です。「漢語林」（大修館書店）、「標準漢字表（昭和 17 年）」、「常用漢字表（昭和 6 年）」を参考にして、いわゆる康熙字典体を決定しました。 <b>戦中・戦前の活字の使用実態をそのまま再現するものではありません。また、同音の漢字の書換は一切考慮しません</b>
検索と置換	ドキュメント	編集中のドキュメント全体で変換を実行します。
	ストーリー	現在のストーリーで変換をします。
	選択範囲	選択範囲内で変換を実行します。



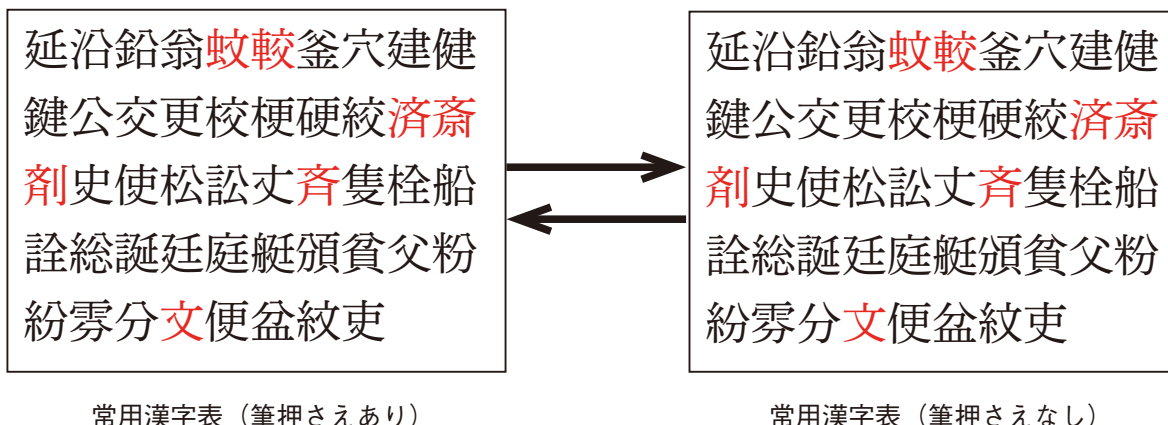
※標準字形には戻しません。

※常用漢字表で特定の字種群に筆押さえを付ける付けないかの切替は可能です。

※また、いわゆる康熙字典体にすると、常用漢字表準拠の字形には戻しません。

## 筆押さえ設定の注意点

「常用漢字表（平成 22 年）／筆押さえなし」「常用漢字表（平成 22 年）／筆押さえあり」の設定では、以下の字種がまとめて筆押さえを付ける付けないかが決められます。ただし、赤字で強調した字種は Pr5 (Adobe Japan 1-5) 以上のフォントでのみ有効です。Pro フォントはどちらの変換設定下であっても筆押さえがないままです。



筆押さえはフォントに大きく依存します。ゴシック体はそもそも筆押さえがないこともあります。明朝体では常に筆押さえ付きであったり、筆押さえのある字形とない字形が CID で入れ替えがされていたりします。**本スクリプトはそのようなフォントの実装差を一切考慮していません。小塚明朝 Pr6N の字形に基づいて変換をします。**

常に筆押さえがある字種の例		
フォント \ CID	1964	13440
小塚明朝 Pr6N	公	公
秀英体明朝 Pr6N	公	公
リュウミン Pr6N	公	公
「筆押さえあり」の設定：CID1964 → CID13440		
「筆押さえなし」の設定：CID13440 → CID1964		

常に筆押さえがない字種の例		
フォント \ CID	3082	13482
小塚明朝 Pr6N	廷	廷
秀英体明朝 Pr6N	廷	廷
リュウミン Pr6N	廷	廷
「筆押さえあり」の設定：CID3082 → CID13482		
「筆押さえなし」の設定：CID13482 → CID3082		

## いわゆる康熙字典体の注意点

「漢語林」（大修館書店）、「標準漢字表（昭和 17 年）」、「常用漢字表（昭和 6 年）」を参考にして、いわゆる康熙字典体を決定しました。**戦中・戦前の活字の使用実態をそのまま再現するものではありません。**本スクリプトは「弁」を「辨」に一律に置換します。旧字体では複数の字種が使い分けられていたが現行ではまとめて一つの字種に置き換えられた事例や同音の漢字の書換は考慮しません。**あくまでも「全字種をいわゆる康熙字典体で組版する」際の補助的な設定**です。

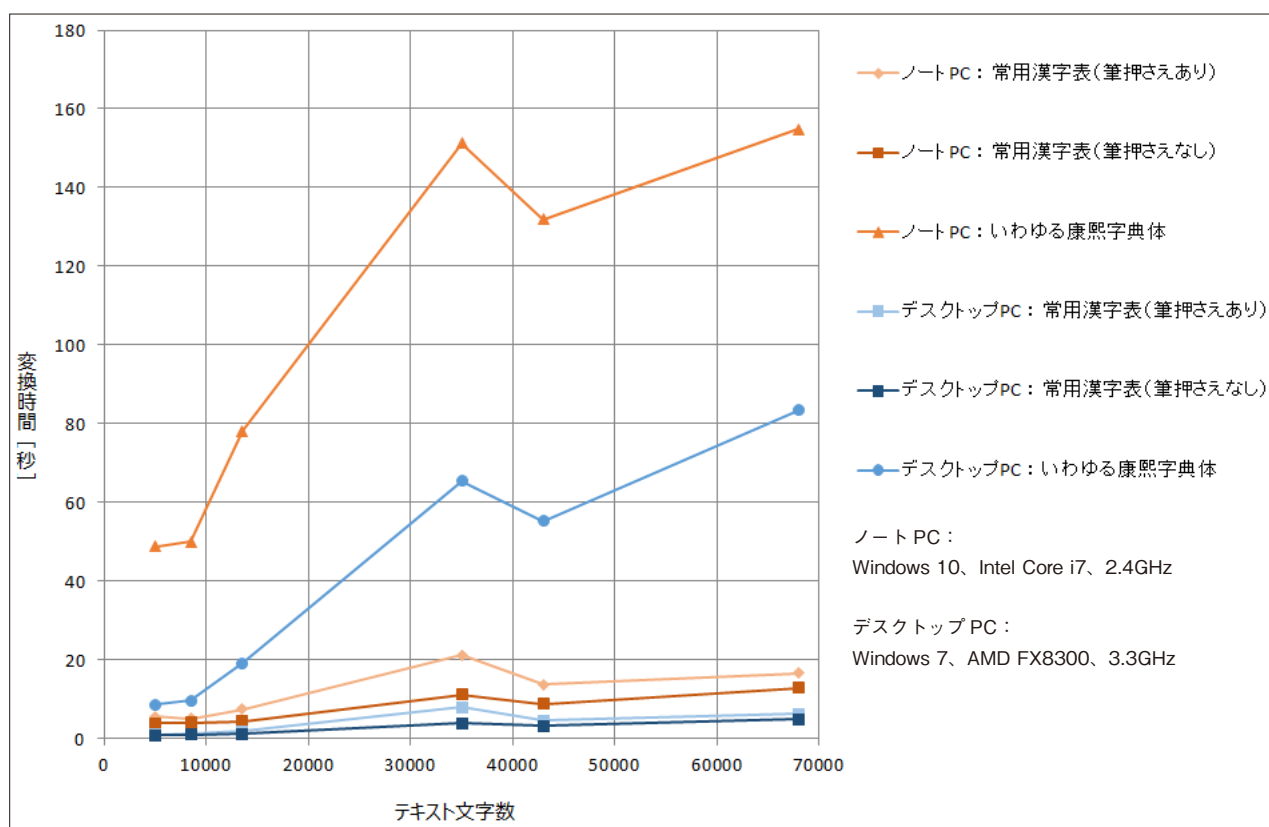
また「いわゆる康熙字典体」に置換した場合、「標準字形」や「常用漢字表」に戻すことはできません。一方通行な設定です。

## 変換時間

**変**換を開始したら途中で中止できず、また変換が終了するまで InDesign の操作はできません。

変換時間は「テキストの長さ」「テキストに含まれる変換対象の字種の延べ数」「テキスト中の利用書体数」「利用中の PC の性能」に依存するため、一概には言えません。

参考までに「**いわゆる康熙字典体**」で変換をすると数十秒は掛かります。制作者の環境で計測した変換時間を以下の通り示します。



テキスト文字数と変換時間